

第32期第15回常任理事会議事録

日時：2003年11月17日（火）13時30分～16時

会場：日本気象学会事務室（8階）

出席者：廣田，古川，勝山，神沢，木田，田中，新野，
藤部，萬納寺，山内，以上10人

その他の出席者：館，島村（事務局）

議題

1. 第32期第14回常任理事会議事録の確認
2. 第32期第5回理事会議事録の確認
3. 各委員会等の報告

庶務…後援名義等使用依頼受付

名称：気象技術講習会「気象学の基礎」（第9回）

- 1) 共催：(社) 日本気象学会・(財) 気象業務支援センター
- 2) 期日：平成16年2月より全10回予定
- 3) 場所：(財) 気象業務支援センター会議室
- 4) 名義：共催

名称：専攻課程講習会「メソ気象」

- 1) 共催：(社) 日本気象学会・(財) 気象業務支援センター
- 2) 期日：平成16年1月20日(火)～22日(木)
- 3) 場所：未定
- 4) 名義：共催

・「第41回理工学における同位元素・放射線研究発表会」の運営について

運営委員として廣田道夫会員を選出，協賛金一口（3000円）。

・平成15年度「公益法人調査」の実施について
文部科学省研究振興局学術研究助成課宛提出（10月21日）

提出書類：平成15年度公益法人概況調査票，公益法人ホームページ開設状況調査票など。

・「公務員制度改革大綱に基づく措置について」の推進状況調査

提出書類：推進状況票，役員名簿など。

・2003年度「三宅賞」について当学会から推薦した候補者は選考漏れの通知があった。

・東京湾海洋環境研究委員会派遣委員として当学会から古川武彦会員を選出。

・地球物理学関連学会会長等懇談会事務補助費（2万円）振込（11月10日）

・「気象集誌」の印刷業者（Vol. 82, 1-6）：
学術図書（株）に決まる。

「天気」の印刷業者（51巻1-12号）：
三報社印刷（株）に決まる。

・気象科学事典（東京書籍）の印税が入金された。

会計…2003年10月分の収支報告

天気…Vol. 50 No. 11（2003年11月号）の掲載記事と
Vol. 50 No. 12（2003年12月号）掲載予定記事の報告

気象集誌…Copyright Agreement Formを集誌12月号と気象学会ホームページに掲載する。2004年に投稿される論文から適用。

・2000，2001年に掲載された論文を対象とする2002年のインパクトファクター（引用件数の指標）は0.697で，前年，前々年のそれぞれ1.007，0.797より低くなった。

気象研究ノート…第204号「モンスーン研究の最前線」を発行。今年度中にと2号発行したい。

講演企画…春季大会は2004年5月16日（日曜）から5月19日（水曜）までの4日間開催。初日だけの参加者の参加費を半額にする。

・初日の午後に開催される専門分科会「地球温暖化と異常気象」の名称は講演企画委員会の行事（「シンポジウム」）と区別するために，「公開講演会」とする。宣伝の工夫が必要である。

総合計画…会員制度見なおしの記事を「天気」11月号に掲載する。

・気象予報技術講習会を気象業務支援センターと気象学会との共催で開催する。

・気象業務支援センターが「気象カレッジ」創設計画を提案した。気象学会としての関わりについて議論された。

教育と普及…ほかの学会の教育と普及に関する活動状況をホームページの掲載事項で調査した。

電子情報…2003年10月1～31日の気象学会ホームページのアクセス状況（65,563件）。

4. 会員の新規加入等について

新入会員24名を承認，退会32名。11月13日現在，会員数4,358名(内，通常会員3,910名)。海外団体会

員で会費未納者を退会処理した。海外団体会員の減少は気象集誌の電子ジャーナル化の影響があるかもしれないとのコメントがあった。

5. 2004年度事業計画・予算案について
2004年度の案に対し、今後修正していく。
6. 第33期役員選挙について
11月17日に第一回選挙管理委員会が開催された。「天気」11月号に告示が掲載される。
7. 第2回評議員会の形式と議題について
第1回評議員会で提示された問題点に対する気象学会の回答を示す。藤谷徳之助会員から評議員になることの受諾を得た。尾池和夫評議員が京大の学長になったため評議員を辞退する。補充はしないこと

とした。

8. 学会運営に関する諸問題（継続）について
会員制度の見なおし、地方支部の活動費の確保などの問題の検討を継続する。
9. 韓国気象学会からの招待への対応について
2004年3月に韓国気象学会大会と同時に開催される「高インパクトの気象と気候国際会議」(ICHWC2004)への招待状が届いた。ICHWCの会議の性格の確認などを住理事に依頼した。
10. その他
日本学術会議で気象研連委員の任期延長が承認された。

2004年度山本・正野論文賞候補者の推薦募集

日本気象学会の山本・正野論文賞は、(旧)山本賞(新人賞)の発展として1990年度に発足し、2004年度はその15回目に当たります。この賞は前2年度内(2002年4月から2004年3月末まで)に発表された気象学に関連する論文の中から、基礎研究・応用技術研究を問わず、新進(受賞年度に原則として35歳未満)の研究者・技術者による優秀な論文を選び顕彰するものです。論文公表の雑誌は国内・国外を問いません。

これまでの受賞者は、'90年度：向川 均(気象大学校)、'91年度：佐藤 薫(京都大学)、'92年度：田中 博(筑波大学)、'93年度：沼口 敦(国立環境研究所)、牛丸真司(沼津工業高等専門学校)、'94年度：中村 尚(東京大学)、'95年度：小池 真(名古屋大学)、森本真司(国立極地研究所)、'96年度：謝尚平(北海道大学)、'97年度：植田宏昭(筑波大学)、小林文明(防衛大学校)、'98年度：掘之内武(ワシントン大学)、'99年度：加藤輝之(気象研究所)、山本 勝(和歌山大学)、'00年度：日暮明子(国立環境研究所)・藤原正智(北海道大学)、'01年度：谷本陽一(北海道大学)・渡部雅浩(東京大学)、'02年度：竹村俊彦(九州大学)・高谷康太郎(地球フロンティア)、'03年度：寺尾有希夫(国立環境

研究所)、榎本 剛(地球フロンティア)の22氏です。つきましてはこの趣旨に沿う候補者(論文)を選考するために、下記により広く会員からの推薦(自薦も歓迎)を募りますので御協力をお願い申し上げます。

日本気象学会山本・正野論文賞候補者推薦委員会

藤吉康志, 岩崎俊樹, 小林隆久, 中根英昭, 中村 尚, 吉崎正憲

記

1. 推薦期限：2004年4月2日(金)
2. 宛 先：〒100-0004
東京都千代田区大手町1-3-4
気象庁内(社)日本気象学会
山本・正野論文賞候補者推薦委員会
3. 推薦書記入事項：(A 4版横書き1枚程度)
 - (1) 候補者所属・氏名(可能であれば生年月日も)
 - (2) 当該論文題目・雑誌名・年・号数・頁数(可能であれば論文別刷りを同封)
 - (3) 推薦理由(共著の場合は特に候補者の貢献を明確に)
 - (4) 推薦者所属・氏名